

本当に最後！のC型肝炎経口新薬が登場！！

肝臓川柳

また朗報 非代償性にも やつとくる～

((やつとくる…えっとくる～…えぶくる～…エブクルーサ……))

今年の1月8日に

本邦最後のC型肝炎経口薬（DAA薬）“エブクルーサ”が製造承認を受けました。

エブクルーサ配合錠は、

NS5B阻害薬のソフォスブビルと

NS5A阻害薬のベルパタスビルを配合したもので、

あの“ハーボニー”を製造販売したギリアド・サイエンシズ社の新薬です。

特徴は、

「前治療歴を有する（前回DAA治療で治らなかった）

C型慢性肝炎、C型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善」

「C型非代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善」を効能・効果としています。

用法用量はきわめてシンプルで、1日1回1錠

◆C型非代償性肝硬変（初回治療）はエブクルーサ単剤で12週間投与

◆C型慢性肝炎、C型代償性肝硬変（再治療）はレベトールと併用し24週間投与
となっています。

従来薬で治癒しなかった患者に適用できるだけでなく、

非代償性肝硬変患者に適用できる初めての新薬です。

一部、併用薬への注意や腎機能障害が中等度以上（eGFR30未満）には禁忌

という制約がありますが、ほとんどどんなのC型肝炎・肝硬変患者でも

加療が可能となるようです。

発売はもう間近であり、多くの患者さんが待ち望んでいます。



これだけ覚えておいて損はない！今回のポイント

新しいC型肝炎治療薬エブクルーサは

従来薬で治療しきれなかった患者に適用できるだけでなく、

非代償性肝硬変患者にも適応する初めての新薬です。

これでほとんど、どんなC型肝炎・肝硬変でも加療が可能となるようです。